

## 春闘賃上げ率 2%下回る

連合は19日、2021年春闘の第1回集計結果（回答数663組合）を発表した。基本給を底上げするベースアップ（ベア）と定期昇給を合わせた平均賃上げ率は、前年同時期と比べ0.1㌽減の1.81%となり、2年

連続で2%を下回った。  
平均賃上げ額は2788円低い5563円だった。ベア実施が確認できた2886組合の平均ベア額は1685円と、前年を262円上回った。昨年並みの賃上げ率を維持したことについて、神津里季生会長は記者会見で、「賃上げの流れを断ち切らないため交渉した結果だ」と強調した。

## 春闘の賃上げ率 今年も2%割れ

連合初回集計

労働組合の中央組織・連合は19日、春の労使交渉（春闘）の回答状況につい

て初回の集計結果を発表した。基本給の水準を底上げするベースアップ（ベア）

と定期昇給を合わせた賃上げ率は、平均1.81%。連合の初回集計としては2年連続で2%を割り込み、景気回復を背景にベア要求方針を復活させた2014

年春闘以降で最低となつた。

賃上げを要求した組合は前年より2割減り、2770組合。要求した賃上げ額は平均で月7988円だつた。これに対し、19日午前10時までに回答があった63組合の平均回答額は月5563円で、前年の初回集計を278円下回った。

最終集計は7月ごろの予定。春闘の賃上げ率は、厚生労働省の大企業の集計では昨年まで7年連続で2%台を保っているが、連合の集計では昨年も2%を割り込んでいる。（佐藤英彬）

春闘賃上げ率  
今年も2%割れ

労働組合の中央組織・連合は19日、春の労使交渉（春闘）の回答状況について初回の集計結果を発表した。基本給の水準を底上げするベースアップ（ベア）

と定期昇給を合わせた賃上げ率は、平均1.81%。連合の初回集計としては2年連続で2%を割り込み、景気回復を背景にベア要求方針を復活させた2014